



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日 東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所  
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,410	32.0	330	209.3	329	211.2	194	—
26年6月期第2四半期	3,341	6.2	106	△68.2	105	△67.1	7	△95.8

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 661百万円(36.2%) 26年6月期第2四半期 485百万円(157.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	13.43	13.20
26年6月期第2四半期	0.53	0.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	7,155	4,683	64.9
26年6月期	5,758	4,246	73.1

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 4,644百万円 26年6月期 4,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,359	3.1	254	△46.3	258	△43.9	110	685.7	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	14,975,800株	26年6月期	14,873,000株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	683,634株	26年6月期	188,234株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	14,450,237株	26年6月期2Q	14,629,755株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等に関して)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ユーザーファースト視点でのサービス開発を課題と認識しており、下期ローンチ予定のスマートフォンサイトと、それに伴うサービス開発に経営資源を集中しております。その結果、当第2四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成26年12月31日）の業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	4,410,903千円（前年同期比32.0%増）
営業利益	330,578千円（前年同期比209.3%増）
経常利益	329,237千円（前年同期比211.2%増）
税金等調整前四半期純利益	322,919千円（前年同期比246.1%増）
四半期純利益	194,117千円（一）

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） 当第2四半期連結累計期間（自平成26年7月1日至平成26年12月31日）」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ① マーケティング事業

マーケティング事業には、@cosme、海外事業等が属しております。

マーケティング事業におきましては、12月に例年発表しているベストコスメアワードに加え、今回3回目となるベストビューティストアワード\*2014の発表を行いました。その他、@cosme15周年イベントを開催するなど、ユーザーの方々とは直接お会いする機会を設け、交流を図ってまいりました。

売上高につきましては、@cosmeの広告販売が計画以上に推移した他、海外子会社の売上増や第1四半期連結会計期間に連結対象となったビューティー・トレンド・ジャパン株式会社が展開するGLOSSYBOX(グロッシューボックス)の売上が寄与いたしました。

一方で、上記イベントの開催やプレミアム課金に関するプロモーション強化、システム投資強化により費用も増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	2,280,680千円（前年同期比33.7%増）
セグメント利益	164,169千円（前年同期比315.9%増）

## ※ベストビューティストアワード

様々な分野で活躍する女性たちの中で“美を通じて世の中の人々に共感され、今年最も輝いた女性”に贈ることにより、ひとりでも多くの女性が美を通して自分の可能性に気づき、より一層輝いていくことを支援しております。

## ② 小売事業

小売事業には、化粧品ECサイトのcosme.com、化粧品専門店 @cosme store等が属しております。

2014年11月にカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(現 株式会社TSUTAYA)とのコラボレーション店である@cosme store/ TSUTAYA EBISUBASHI店を大阪道頓堀にオープンいたしました。コスメと本をミックスして来店客にトータルビューティを提案するという新たな試みであり、当社グループにとって関西エリア初出店となりました。

上記の新規出店に加え、既存店売上やEC売上も前期に引き続き順調に成長いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	1,832,132千円 (前年同期比36.7%増)
セグメント利益	157,223千円 (前年同期比76.7%増)

## ③ 美容事業支援事業

美容事業支援事業には、ispot等が属しております。

前連結会計年度に実施したサービスメニューの変更により収益が低下しましたが、その後事業立て直しを図っており徐々に改善の兆しが見えてきております。しかしながら、のれん償却を加算した結果、セグメント損失4,938千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	298,090千円 (前年同期比1.0%増)
セグメント損失	4,938千円 (前年同期 セグメント損失41,176千円)

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,397,282千円増加し、7,155,934千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ907,516千円増加し、4,358,344千円となりました。これは主に、現金及び預金が520,627千円増加したこと、営業投資有価証券が269,641千円増加したこと等によるものであります。

営業投資有価証券の増加については、当第2四半期連結会計期間より、投資育成事業を開始したことに伴い投資育成目的の有価証券を営業投資有価証券に計上したことによります。詳細は「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4) 追加情報」「(営業投資有価証券)」に記載のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ489,766千円増加し、2,797,590千円となりました。これは主に、投資有価証券が519,875千円増加したものの、無形固定資産が26,574千円減少したこと等によるものであります。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ959,979千円増加し、2,472,225千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ370,521千円増加し、1,521,251千円となりました。これは主に、買掛金が126,906千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が75,071千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ589,457千円増加し、950,973千円となりました。これは主に、銀行借入を行ったため長期借入金が354,758千円増加したこと等によるものであります。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ437,303千円増加し、4,683,709千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が463,891千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月29日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(営業投資有価証券)

当第2四半期連結会計期間において、主に「ビューティ」に関連する企業を対象とした、投資育成事業に取り組んで行くことを決定いたしました。また、責任体制の一層の明確化を図るとともに機動的な運営を行うため、投資育成事業を行う子会社として株式会社アイスタイルキャピタルを新規に設立いたしました。これに伴い、当第2四半期連結会計期間より、四半期連結貸借対照表上、投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上しております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、投資その他の資産の「投資有価証券」に含めて表示していた投資育成目的の有価証券438,394千円については、流動資産の「営業投資有価証券」に振替えております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,950,540	2,471,167
受取手形及び売掛金	1,153,737	1,176,703
商品	234,125	338,451
営業投資有価証券	—	269,641
その他	120,548	110,056
貸倒引当金	△8,124	△7,676
流動資産合計	3,450,827	4,358,344
固定資産		
有形固定資産	337,131	329,508
無形固定資産		
のれん	49,368	73,250
ソフトウェア	631,390	585,141
その他	60,947	56,739
無形固定資産合計	741,705	715,131
投資その他の資産		
投資有価証券	939,795	1,459,671
その他	289,191	293,278
投資その他の資産合計	1,228,986	1,752,950
固定資産合計	2,307,824	2,797,590
資産合計	5,758,651	7,155,934



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	266,040	392,946
1年内返済予定の長期借入金	211,984	287,055
未払法人税等	136,559	129,356
賞与引当金	47,300	58,320
その他	488,846	653,572
流動負債合計	1,150,730	1,521,251
固定負債		
長期借入金	329,332	684,090
その他	32,183	266,883
固定負債合計	361,515	950,973
<b>負債合計</b>	<b>1,512,245</b>	<b>2,472,225</b>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,002	1,586,274
資本剰余金	1,514,942	1,523,198
利益剰余金	897,913	1,092,030
自己株式	△37,660	△283,565
株主資本合計	3,953,197	3,917,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,735	680,626
為替換算調整勘定	42,052	45,508
その他の包括利益累計額合計	258,787	726,134
新株予約権	10,312	15,310
少数株主持分	24,108	24,326
<b>純資産合計</b>	<b>4,246,406</b>	<b>4,683,709</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,758,651</b>	<b>7,155,934</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,341,742	4,410,903
売上原価	1,179,047	1,735,322
売上総利益	2,162,694	2,675,581
販売費及び一般管理費	2,055,807	2,345,002
営業利益	106,886	330,578
営業外収益		
受取利息	449	1,190
受取手数料	1,497	-
その他	5,231	4,086
営業外収益合計	7,178	5,276
営業外費用		
支払利息	2,073	2,661
支払手数料	2,500	-
投資有価証券評価損	-	1,665
自己株式取得費用	-	1,813
その他	3,703	478
営業外費用合計	8,276	6,618
経常利益	105,789	329,237
特別損失		
固定資産除却損	3,025	-
減損損失	9,210	-
投資有価証券評価損	-	5,265
その他	251	1,053
特別損失合計	12,487	6,318
税金等調整前四半期純利益	93,301	322,919
法人税等	88,351	128,583
少数株主損益調整前四半期純利益	4,949	194,335
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,796	217
四半期純利益	7,746	194,117

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,949	194,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	465,384	463,891
為替換算調整勘定	15,548	3,455
その他の包括利益合計	480,932	467,346
四半期包括利益	485,881	661,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,678	661,463
少数株主に係る四半期包括利益	△2,796	217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が245,904千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が283,565千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注) 2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (千円)
	マーケティ ング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,705,943	1,340,660	295,137	3,341,742	—	3,341,742	—	3,341,742
セグメント間の 内部売上高又は振替高	53	—	445	498	—	498	△498	—
計	1,705,997	1,340,660	295,582	3,342,240	—	3,342,240	△498	3,341,742
セグメント利益又は 損失(△)	39,475	88,967	△41,176	87,265	—	87,265	19,620	106,886

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資育成事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額19,620千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売事業」セグメントにおいて、銀座店の閉鎖の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において9,210千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注) 2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (千円)
	マーケティ ング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,280,680	1,832,132	298,090	4,410,903	—	4,410,903	—	4,410,903
セグメント間の 内部売上高又は振替高	650	—	761	1,411	—	1,411	△1,411	—
計	2,281,330	1,832,132	298,852	4,412,315	—	4,412,315	△1,411	4,410,903
セグメント利益又は 損失(△)	164,169	157,223	△4,938	316,454	△221	316,232	14,346	330,578

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資育成事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額14,346千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、報告セグメントを従来の「メディア事業」、「EC事業」、「店舗事業」及び「その他事業」の4区分から、「マーケティング事業」、「小売事業」及び「美容事業支援事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。